



西田 稔 議員

危険交差点の安全対策を早急に！

危険交差点の安全対策について

問 山口町地内の県道岩井高山停車場線と国道361号との交差点において事故が多発している。地元から信号機設置を要望されているが状況は。

答 信号機の設置については、道路管理者である高山土木事務所や、高山警察署の公安委員会に対し、要望を継続して行っていく。

問 信号機設置が困難であるなら他の安全対策が実施できないか。

答 今年度、交差点内の区画線を引き直すことによりどちらの道路が優先道路であるかを明確にすることで、事故防止を図る予定とのことである。

小中学校屋内運動場の熱中症対策について

問 熱中症予防対策として（公財）日本体育協会から温度指標が示されている。市の教育現場での対応状況は。

答 体育館にWBG T湿度測定器もしくは通常の温度計を常設している小中学校は、21校で、残りの10校については体育館には常設しておらず、通常の温度計を持ち運んでいる。熱中症予防を徹底するためには、WBG T測定器もしくは通常の温度計を設置する。



江名子小学校体育館に設置された温度計



上嶋希代子 議員

『地域医療構想』について

県の構想に対して市の対応は？

問 今後の医療費を削減しようというねらいで団塊の世代が後期高齢者になる2025年までの国の計画を地方に迫って来たのが地域医療構想である。病床医療構想で2013年度時比で15万6千床も減らす計画を示している。県も必要病床数を削減する方針を示した。市は、これにどう対応しようとしているのか。

答 地域医療構想は、地域の実情に応じて、それに適した体制を構築するためのものであるという本来の趣旨を踏まえ、地域の実情に合った医療体制を目指して、市民の安心の確

介護療養病床の存続の取り組みは

問 地域医療構想計画の中で取り上げられた一つに高山厚生病院で実施されている介護療養病床がある。国は「介護医療院」と言う名称にして6年の延長をとりあえず決めだが、ゆくゆくは廃止・変更を迫るものになっている。この療養病床を続けるに当たって市の考えは。

答 高山厚生病院存続では地元も含めて何回も、要望を受けている。市として国会議員の方々に要望している。大きな政治的な流れの中で決まって行くことなので、今後とも要望を届ける努力をしていく。



牛丸 尋幸 議員

特別徴収税額通知書 マイナンバー記載は個人情報漏えいの危険

問 市が事業所に送付した、従業員の市民税額を知らせる特別徴収税額通知書に、今回従業員の個人番号（マイナンバー）が記入されて送付された。送付した事業所数と、個人番号を記載した従業員数は。

答 通知書を送付した市内事業所は約2,900件。そこに働いている従業員の数は約31,000人である。

問 日本弁護士連合会は、通知書に個人番号を記載しないよう意見を提出している。内容は全ては、個人番号が漏れる危険があるのかどうか、事業所における安全管理措置の状況を、把握すべきだといったのではないか。

答 把握することは困難である。事業所に対し、しっかりとした対応をしていただくよう書面で周知をした。

シ が侵害されることを考慮して、記載すべきでないとしている。市は、事業所における安全管理措置の状況を把握しているのか。

答 個人番号の保管管理体制等については、把握していない。

問 市の個人情報保護条例では、「市はあらゆる施策を通じて個人情報の保護に努めなければならない」と定めている。通知書を送付することで、個人番号が漏れる危険があるのかどうか、事業所における安全管理措置の状況を、把握すべきだといったのではないか。

答 把握することは困難である。事業所に対し、しっかりとした対応をしていただくよう書面で周知をした。